

指定校番号	28079	学級活動	児童会・生徒会活動	<input type="radio"/>	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	-----------------------	------	------

平成 28 年度 生徒指導 集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立観音中学校	校長	中山 昭彦	生徒指導主事	森光 千佳
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『三無言プロジェクト・GGキャンペーン』

取組のねらい『キーワード 習慣』

【三無言プロジェクト 無言読書・無言集合・無言清掃】

- 無言読書・・・静かに落ち着いて一日のスタートをきれいにさせる。
- 無言集合・・・無言集合することによりその場の気配や空気を感じて行動する力をつける。
- 無言清掃・・・一人ひとりに割り当てられた場所の清掃を無言で行うことで時間を守り、責任感を身につける。

「無言」の目的

- ① 集中力を高める（私語をせず、物事に真剣に取り組む力を高める）
- ② 感情のコントロール（相手のことを考えて感情をコントロールする。感情をコントロールすることで、お互いのことを理解し、つながることができる。また、お互いを気遣う事で思いやりの心を持つことができる）
- ③ 人に迷惑をかけない（人が集まる場所など、その場に合わせ静かにすることで周りに迷惑をかけない）

【GGキャンペーン】(Good Greetingキャンペーン)

あいさつの意味を考え、自ら進んで気持ちの良いあいさつをすることができる力をつける。

この2つの取組により、きれいな環境の中で落ち着いた生活を送り、はじめのある行動をとることができる。日々の習慣を通して、安定した自分を創ることができるということに気づかせる。

取組の具体的内容『キーワード 実行』

【三無言プロジェクトの実施】

- 無言読書：定刻になったら無言で読書をはじめ。
- 無言集合：朝会や集会など人が大勢集まる時に無言で集合する。
- 無言清掃：清掃を無言で行う。

【GGキャンペーン】(Good Greetingキャンペーン)

- ① 教職員が「すばらしいあいさつ」をしてくれた生徒にGGシールを渡す。(同じ先生から1日1枚しかもらえない)
- ② そのシールをもらったら教室にあるGGポスターに貼る。GGシールが規定のポイント(50ポイント)貯まったらGGバッジが授与される。

取組の課題・創意工夫『キーワード 明確』

【三無言プロジェクト】

- 「無言」の状態を作る為の指示の出し方を明確にする。
文化図書委員が定刻になったら読書の呼びかけをし、読書を静かに始めるための準備をさせる。
- 「無言集合」
生徒会執行部と代議員で「無言」プラカードを作成し、朝会や全校集会、学年集会で執行部と代議員が「無言プラカード」掲げ、無言指示で無言集合をさせる。

- 「無言清掃」については定期的に生活環境委員で反省を行い、改善を図る。
生徒会執行部と教員で協力して「無言清掃」の目的と行い方を示したDVDを作成し、全校集会で視聴し、実施した。(10月から継続中)

【GGキャンペーン】

- 「あいさつ」の基準を明確にし、判断をしやすようにした。
「すばらしいあいさつ」の基準
 - ◎ 立ち止まって、会釈をそえて、大きな声であいさつをする。
- 最終的に授与されるバッジのデザインを体育委員会から生徒に募集し、デザインを決定した。

取組の成果(効果)『キーワード 未来』

三無言プロジェクトは、各委員会の協力により定着しつつある。特に、無言読書と無言集合はほぼできつつある。無言清掃については、生徒も興味を持ち、新執行部も選挙のときにはこのプロジェクトを進めていきたいと公約をしてくれた。

GGキャンペーンの実施により、校内の「あいさつ」が増え、「あいさつ」を通して、生徒と生徒、生徒と教職員の会話も増えるなど、コミュニケーションを図れる場面が多くなった

この取組を続けることでいろいろな未来に繋がり、たくさんの可能性が広がると思う。

今後の展開『キーワード 改善』

三無言プロジェクト、GGキャンペーンはやりっぱなしにせず、反省し改善する。改善するときには生徒の意見やアイデアを大切にし、生徒の思いが実現できるよう教師がアドバイスや手助けをする。

他校へのアドバイス『キーワード 挑戦』

「とにかく挑戦」アイデアをある程度形にしてやってみる。やろうやろうと先延ばしにするとずっとできないのでやってみて改善し、さらに良いものにしていくという考えで取り組む。